



塩中だより

第11号

令和2年7月28日(火)

四日市市立塩浜中学校

(文責) 学 校 長

ピグマリオン

～三者懇談は説教の場じゃない！みんなの進路を真剣に考えていく場なのです！～

後4日で1学期が終了します。そして、8月6日、7日には三者懇談会です。みんなの心境はドキドキしているのでしょうね。お家の人も君たち以上に緊張しているのかもしれませんが。何はともあれ、しっかりと**自分の成績に向き合って今後のことを考えて**いきましょうね。

さて、1学期を過ごし、三者懇談会を迎えるみなさんに、一つお話を。

ギリシャ神話の中の「ピグマリオンの恋」という有名なお話です。

キプロス島の王ピグマリオンはある日、象牙で女性の像を造りました。彫刻作品とはいえ、その出来栄えがあまりに素晴らしく、恋をしてしまいました。

「なんて美しいのだ。いっそのこと生命が吹き込まれ、動き出せばいいのに！」

彫刻に命が宿ることを、寝ても覚めても祈り続けました。その熱意が強いので、それに見かねた恋愛の神アフロディテが特別措置をしました。なんと、女性の像に生命を与えたのです。そしてピグマリオンとその女性は、めでたく結ばれたというお話です。

祈りが強ければ、その願いのとおりになるという素晴らしいお話ですね。空想の世界の話であるギリシャ神話ではあるのですが、実は現実の世界でも同じ現象が見られるのです。実はこれと似た現象が、教育心理学の世界ではあるのです。学校の先生やお家の人が、生徒に期待をすると、その生徒の成績が伸びやすい、という結果が発表されています。



「次はがんばろう」「この調子でいけば必ず大丈夫だ」「ここを改善すればもっと成績がよくなるはずだ」など大人から期待されていることが伝わり、その期待に応えたいという思いで、一生懸命に言われたことを忠実に守って、勉強する…その結果、点数や成績に効果が表れるというものらしいです。先生やお家の人の願いや気持ち、祈りが生徒に伝わり、そのとおりの結果になっていくというのは、ピグマリオンと同じですね。**人は、周りからの期待を感じると、期待に応えようと行動力が増す**のです。これを「**ピグマリオン効果**」と言っています。ギリシャ神話のピグマリオンのように、祈りが強ければその願い通りになることから、名付けられたのです。

お家の人は、君たちに大いに期待をしています。君たちに少しでも、希望通りの幸せな進路を歩んでほしいという強い願いからの期待です。前向きで、ポジティブな言葉をかけて、できると信じたいと思うのが親心というものです。しかし時として、期待外れの成績を目の前にしてしまうと「なんじゃこれ！」となってしまうこともあります。それを「怒ってばかりだ」とか「ちっとも自分のことわかってくれない」「うるさいなあ」と思ってしまうかもしれません。**期待されているのだと理解して**、さらに期待される人間になるよう、君たちも努力をしていかなければいけないということなのです。

このように君たちとお家の人、そして我々教師で君たちの進路を考えていく場が、三者懇談会であると、先生たちは考えています。ちなみに先ほどの「ピグマリオンの恋」というお話、実はピグマリオン王の強い願いに、彫刻像の女性自身にも心が宿り、「この人を愛したい」

「動きたい」と強く思いはじめ、その異例な光景に恋愛の神が手をさしのべたんだそうですよ。彫刻の女性は君たち「生徒」、ピグマリオン王は「お家の人」、恋愛の神アフロディテは我々「教師」？ といったところですかね～ 三者懇談会よろしくお願いします。



中体連三泗地区大会 壮行会



7月17日（金）6限目に、中体連三泗地区大会に向けての、壮行会が開かれました。

3年生にとっては、最後の大会になります。頑張ってきてくれると思います。

大会を開催できるように尽力していただいた人たちへの感謝の気持ちをもって頑張ってきてほしい。

ひとつひとつの振る舞いに『感謝』の気持ちをいっぱい込めて、この大会に臨んでください。



職業講話 No.3～2年生

7月6日（月）に、2年生では、第3回目の職業講話を行いました。

今回は、福祉の仕事について教えていただきました。三重県社会福祉協議会から川崎さん、四日市社会福祉協議会からは、古林さん、安田さんに来ていただき、パワーポイントを用いて社会福祉士の仕事について教えていただきました。



仕事において大切なことや特に古林さんが大切にしていることやこの仕事のやりがいなどを教えていただきました。

そして、最後に生徒の皆さんに伝えたいことを話していただきました。

最後に川崎さんから事前の生徒の質問にグラフや写真を使って丁寧に答えていただきました。ありがとうございました。



三重県社会福祉協議会の川崎様からメールもいただきました。

貴校の福祉の学びセミナーにご協力いただき本当にありがとうございました。

限られた時間ではありましたが、生徒達の福祉への興味・関心を高めることができ、今後の自身の成長のための一助になったのではないかと、考えております。

至らない部分も多々あったかと思いますが、私どもも更に研鑽を高めて、若い世代への福祉・介護の魅力を発信してまいります。